

県内の新規就農者を対象に現地視察研修会を開催しました

令和7年3月6日、農業の担い手育成支援事業の視察研修会を開催しました。当事業では、県内の畜産新規就農者（農業セミナー生：当日参加者7名）を対象に、定期的に巡回で農業セミナーを開催するほか、集合で視察研修会を開催しています。

まず初めに葉山町で、農場HACCP認証を取得し自社ブランド牛を生産し、6次産業化にも取り組む石井ファームを訪ねました。

参加者は牧場内の様子を見学しながら、肉のおいしさを追求するための長期肥育や、エコフィードを利用した飼料の説明等について牧場主からお話を聞きました。特に、エサの販売業者との取引方法についての説明が印象的であり、今後の経営を考えるうえで、新規就農者にとって良い手本となりました。

次に横浜みなとみらいに本社がある、大手企業の日本ケンタッキー・フライド・チキン株式会社（以下、KFC）を訪問しました。『KFCのチキン生産とアニマルウェルフェア（以下、AW）について』『KFC「ケンタッキー・フライド・チキン」の秘密』の講義があり、KFCの鶏肉生産の仕組みとAWの取組み、こだわりの味の秘密について学びました。その後に試食があり、参加者は講義で調理法を学んだフライドチキンの味を確かめ合っていました。楽しそうに仕事をされているKFCの職員の方の話を伺う良い機会となり、参加者が今後経営していく上で良い刺激となりました。

視察研修会は先進事例を学習することで経営感覚を身につけるとともに、異なる経営部門の生産者の交流を図るために開催しています。今回参加した新規就農者は視察先と活発に意見交換を行っており、経営内容や経営環境は違うものの、視察研修会が目的どおり生産者相互の交流のきっかけとなりました。

当所では、新規就農者の経営がより発展するよう、今後も支援を続けていきます。



自社ブランド牛の生産に取り組む石井ファームでの視察の様子



K F Cでの講義を受ける様子